

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	橋りょう長寿命化修繕事業		
事業担当	土木部 道路整備課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	住みごこち 人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
橋りょうの維持管理費用の低減と平準化が図れるとともに、橋りょうの良好な状態が保たれています。		橋りょう長寿命化を図るため、橋りょう長寿命化修繕計画に基づく橋りょうの点検・補修設計・修繕を行います。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	修繕対策実施進捗率(平成26年度から)			単位	%
	説明・算定式	橋りょう長寿命化修繕計画に基づく平成28年度までの修繕対策実施項目(29箇所)の修繕完了を100%とした進捗率				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標			3	27	
	実績			10		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	：予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
美里橋、馬入本町架道橋、上吉沢架道橋の補修設計及び下花水橋外5橋の点検調査を行いました。また、城所架道橋の補修工事を行っています。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	市民の安心・安全を担保するために必要です。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	定期点検による費用の増はありますが、長期的には維持管理費用の削減が期待でき、橋りょうの安全性を確保することができます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	修繕や定期点検により、長寿命化修繕すべき橋りょうの順位を見直して橋りょうの修繕を実施します。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	橋りょうの定期点検や修繕によって、安全確保と長寿命化が図られるとともに、橋りょうの維持管理費用削減効果が期待できます。	高中低
今後に向けた課題の分析 橋りょうの点検調査を進めながら、補修が必要な橋りょうの設計・修繕をする必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容				点検及び補修工事等	点検及び補修工事等
財源内訳	国庫支出金	0	0	19,910	46,750
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	11,000	34,200
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	7,117	4,427
事業費 (A)		0	0	38,027	85,377
執行率 (%)		-	-	46.71	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 点検調査により橋りょうの損傷状況を把握し、効率的な修繕を行います。
課長コメント 今後、老朽化した橋りょうが増加していく中で、適正な管理水準の維持と維持保全費用の低減・平準化をするために、長寿命化計画に基づき、定期的な点検と計画的な修繕を実施する必要があると考えています。